

「入院診療計画書」

子宮内容物除去術

病名()













氏名

様

症状()

西・東病棟 階 A・B

号室

	入院当日	手術当日	手術中	帰宅	術後1病日	退院日
	月 日	月 日			月 日	月 日
目標	手術に必要な検査・処置が順調に終了する	不安なく手術に臨むことができる。			退院後の過ごし方がわかる	
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について説明します。 医師から病状・手術について説明があります。 同意書を確認します。 手術に必要な物品を確認します。 	ご家族の待機場所をお知らせください。	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔は静脈麻酔を行います。 無痛状態で眠る麻酔です。 患者様の状態によっては、全身麻酔で行う場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族に医師から手術後の説明をします。 麻酔から覚めたら深呼吸をするようにしましょう。 離床について説明をします。 	医師より次回外来受診までの流れについて説明があります。 退院後、下腹痛、性器出血が多い時や、気になる症状がある場合は、病院を受診して下さい。	
治療・処置	必要時、子宮の入り口を拡げる処置をします。	<ul style="list-style-type: none"> 手術室入室後に心電図のシールを張り、腕に血圧計を巻きます。 指に身体の酸素を測る機械をつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素マスクを顔に当てます。 点滴から麻酔薬が入り眠くなります。 眠ってから口腔内に呼吸を助けるチューブを入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ()時まで、酸素吸入をします。 体温、脈拍、血圧測定を行います。 	 退院時診察をします。許可が出たら退院です。	
検査					必要時、採血があります。 	
内服・点滴	現在内服中の薬がありましたらお持ち下さい。 	点滴をします。 			医師の指示によって内服を開始します。	必要時、退院処方が出ます。
食事	中止指示まで食事は可能です。	食事・水分については術前オリエンテーションで説明します。 	()時から飲水できます。 (朝・昼・夕)食から開始となります。 			
生活・行動	病棟内を自由に歩いてかまいません。 	時間に合わせて主治医、看護師と手術室に入室します。	手術する部屋へ移動し、看護師の介助で手術台へ移動します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室から病室へ戻ります。 帰宅時はベッド上安静です。 トイレ歩行は()時から可能になります。 	できる範囲で歩きましょう。 	
清潔	 シャワーが浴びられます。	病衣に着替えキャップを付けます。	<ul style="list-style-type: none"> 手術の準備のために病衣を脱いでいただきます。 手術が終わったら体をきれいに拭きます 	ナプキンを交換します。	退院診察後は、シャワーを浴びられます。 	
その他	 付き添いは、必要ありません。体調が悪い時はお申し出ください。また、退院後、何かありましたら病院にお電話ください。院内禁煙となっております。病室内での通話は、ご遠慮ください。					

特別な栄養管理の必要性 有・無

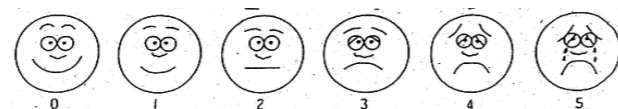
在宅復帰支援計画 無・有()

総合的な機能評価 無・有()

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。



0=まったく痛みがなくとても幸せ

1=ちょっとだけ痛い

2=それより少し痛い

3=もっと痛い

4=かなり痛い

5=必ず泣くほどではないが、想像できる最も強い痛み

年 月 日

岩手医科大学附属病院産婦人科病棟

医師名

担当以外の担当者

在宅復帰支援担当者

本人・家族名